

痛みを忘れる

vol.1

深いイイ話。

いい話



宜しく願います。

では、どんな「痛み」の時にペインクリニックを受診すればいいのでしょうか？

今年9月に三田市貴志に開業致しました「かみはらペインクリニック」院長の神原です。これから1年間痛みや疾患の事などをお話していきます。

「ペインクリニック」とは「痛みを治療するクリニック」です。馴染みが薄くカタカナ表記なので、ごく最近出来た診療科かと思われるかもしれませんが、日本ペインクリニック学会の第1回手術集会が開かれたのが昭和44年ですから実は50年近い歴史があります。

その割に余り認知されていないのは何故でしょう？ 私にも確かなどは

分かりませんが、人手の問題があるのではないかと思います。「ペインクリニック」の医師の殆どは「麻酔科」の医師です。

医療技術が進歩し、手術件数は年々増加していますが、麻酔を専門とする「麻酔科医」の数が追いついていません。その為、「ペインクリニック」を専門にやりたくてもなかなか出来ないという環境なのだと思えます。今後、専門とする医師が増加し、活躍すれば認知度も上がるかもしれません。

私も三田市周辺の皆様にも1日でも早く認知されるように頑張りますので、

「痛み」は人体に対する警告の意味があります。急に右下腹部が痛くなった時は虫垂炎(盲腸)の可能性もあり「痛み」だけを止めてしまえば、虫垂炎は悪化し腹膜炎になるかもしれません。このような原因を治療する必要のある「痛み」は基本的に「ペインクリニック」の治療対象ではありません。次回から具体的にどの「痛み」をお話します。

次回から具体的にどの「痛み」をお話します。

痛みを忘れる

vol.2

深いイイ話。

いい話



院長/神原 政仁

今回からはペインクリニックで治療できる症状

からない腰痛が8〜9割と言われています。

や疾患についてお話しさせていただきます。まずは腰痛についてお話ししましょう。現在の日本人が抱える症状で一番多いのが腰痛です。皆さんも現在あるいは過去に腰痛に悩まされたことがあるのではないのでしょうか。

「非特異的腰痛」と呼ばれるそれらの腰痛にはストレスなどの精神的な要素が影響を与えている場合もあります。そのような腰痛にはストレスを発散できるような気分転換を行うことを勧めたり、お薬では鎮痛薬よりも抗不安薬・抗うつ薬などを処方します。しかし、「うつ」などの明らかな精神疾患がある場合には心療内科や精神科での治療が必要なこともあります。

もちろんペインクリニックでも腰痛の治療をしています。治療を行うには、まず原因を調べるこ

とが大切です。では、腰痛の原因は何でしょうか？
腰椎椎間板ヘルニア？
腰部脊柱管狭窄症？
腰椎圧迫骨折？
実は原因の分

次回は「急性腰痛」

いわゆる「ぎっくり腰」

についてお話しします。

「ぎっくり腰」は重い
する方もいます。



荷物を持ち上げたり、腰をひねったときなどに起こる腰の激痛です。西洋では急激な病態から「魔女の一撃」とも呼ばれています。多くは予後良好ですが、トイレに行くのも、ひと苦勞なほど強い痛みなので、日常生活がかなり制限されます。

ほとんどは鎮痛薬を飲んで、安静にしていれば治りますが、一刻も早く

この激痛を治したいですよね！そんなときにペインクリニックの治療で回復を早くできる可能性があります。中には神経ブロック一発で劇的に改善

どんな治療をするかは、その原因によって違ってきます。椎間関節と呼ばれる脊椎の関節が原因のときには椎間関節ブロック・筋肉や筋膜が原因のときにはトリガーポイント注射や筋膜リリース・椎間板が原因のときには硬膜外ブロックなどを行います。特に硬膜外ブロックは汎用性があり